






校長	副校長	教頭	事務長	関係職員	主任	公印
						
伺い) 本件 歴史総合授業 してよいでしょうか						有 無
決裁	6年11月7日	発送	年月日	/		

2024年11月6日

## 歴史総合における講演会の実施について

- 日時：11月15日（金）5・6時間目
- 場所：視聴覚・応接室（待機場所）
- 対象：4年C組・4年D組 計75名
- 講師：神奈川新聞社 石橋学（いしばしがく） 記者

### 5 目的：

講師の石橋記者は、川崎市桜本地区における、在日朝鮮人たちのヘイトスピーチとの闘いやヘイトスピーチ解消法の成立などを取材されてきた。近年では、取材での経験をもとに講演活動を行い、ヘイトスピーチやヘイトクライム解消に向けた啓発活動に尽力されている。今年度、歴史総合の授業では単元を通してレイシズムについて多面的・多角的に考察してきた。単元のまとめとして、現代のレイシズムとして「ヘイトスピーチ」について取り上げる。石橋記者の講演を聴くことを通し、これまでの学習を総括するとともに、差別のない多文化・共生社会の実現に向け、生徒の人権意識を向上させたい。

- その他：謝礼金額については、別途伺います。

### 7 事前・事後指導

#### <事前>

- ・生徒の中には、外国にルーツを持つ生徒もいる。  
→事前に参加するか確認。

#### <事後>

- ・「レイシズムをなくすためにはどうすればよいか。授業で学習したことをいかして大事だと思うことを3点、理由とともに書きなさい」というテーマのレポート課題を実施。

上記の通り、講演会を実施させていただきたい。  
ご確認よろしく申し上げます。

地理歴史科 内田

## 内田 圭亮

---

**差出人:** no-reply=kanagawa-shimbun.jp@mg.kanaloco.jp は no-reply@kanagawa-shimbun.jp の代理  
**送信日時:** 2024年10月15日火曜日 13:07  
**宛先:** 内田 圭亮  
**件名:** 【自動返信】神奈川新聞社へのお問い合わせを受け付けました

---

神奈川新聞社より自動返信メールです。  
このメールには返信しないようお願いします。

---

このたびは、お問い合わせありがとうございます。

以下の内容を承りました。  
内容を確認し順次ご返答いたします。なお、内容によりご返答までに時間を要する場合がございます。また、内容により返信をしない場合もございます。あらかじめご了承ください。

---

受付日時：2024年10月15日 13:07:16

通番：54346

▼お問い合わせの種類

その他

▼氏名

内田 圭亮

▼フリガナ

ウチダ ケイスケ

▼性別

男性

▼郵便番号

252-0303

▼住所

神奈川県相模原市南区相模大野 4-1-1

▼マンション・団地・アパート名  
神奈川県立相模原中等教育学校内

▼電話番号  
0427491279

▼メールアドレス  
[REDACTED]

▼購読状況  
職場で定期購読している

▼投稿内容

神奈川県新聞社 石橋学 様

お忙しいところ、突然メールをお送りする失礼をお許してください。

私は、神奈川県立相模原中等教育学校、地理歴史科の内田圭亮（うちだ・けいすけ）と申します。この度、高校1年生の歴史総合でのご講演をお願いしたく、ご連絡差し上げました。歴史総合の授業では、添付資料の通り、レイシズムについて単元を通して継続的に考えております。ぜひ石橋様に「ヘイトスピーチ」というテーマでのご講演をご依頼したく存じます。

具体的な講演内容は添付ファイルの通りとなっております。急なお願いで本当に申し訳ありません。授業をしていく中で、生徒たちから「レイシズムと戦った方のお話を伺いたい」という希望がありまして、急遽企画した次第です。授業者としましては、このような生徒の主体性を尊重したいと思ひまして、このようなご無理・ご無礼なお願いしております。大変申し訳ございません。

実を申しますと、川崎ふれあい館の[REDACTED]さんにも同じお願いをしたのですが、予定が空いておらず、対応できないとのことで、石橋様を紹介していただきました。

ぜひ一度ご検討いただけますと幸いです。

何卒よろしくお願ひいたします。

神奈川県立相模原中等教育学校  
地理歴史科 内田圭亮  
電話番号 042-749-1283  
メールアドレス [REDACTED]

▼添付ファイル

アップロード済み

---

本メールについて心あたりがない場合は、大変お手数ですが

下記まで本メールをご返送いただきますようお願い申し上げます。

dokusha@kanagawa-np.co.jp

---

神奈川新聞社

<https://jpn01.safelinks.protection.outlook.com/?url=https%3A%2F%2Fwww.kanaloco.jp%2F&data=05%7C02%7Cuchida-zq5%40pen-kanagawa.ed.jp%7C1d369d65b70d477eb64608dceccedd34%7C3a0b5b07db6a4ffaaf1b5dde3a30edd4%7C1%7C0%7C638645620433710674%7CUnknown%7CTWFpbGZsb3d8eyJWIjoiMC4wLjAwMDAiLCJQIjoiV2luMzliLCJBTiI6Ikl1haWwiLCJXVCi6Mn0%3D%7C0%7C%7C%7C&sdata=E5MuoomZSNnhdSkZ2vbylFvT9lpYD1p3CPf4WFnlEGQ%3D&reserved=0>

## 歴史総合 単元計画（案）

### 1. 単元名 「レイシズム」について歴史的に考えてみよう

### 2. 単元の目標

- ・レイシズムの誕生と広がりや資本主義・帝国主義の拡大と関連付けて捉える。
- ・黒人差別、アジア人蔑視、在日外国人へのレイシズムの歴史について学び、レイシズムの構造的特徴を理解する。
- ・ヘイトスピーチやヘイトクライムなど現代のレイシズムについて川崎桜本とヘイトスピーチ解消法制定の意義から考える。

### 3. 授業計画（予定）

時	授業名	キーワード
1	レイシズム	社会ダーウィニズム、帝国主義、BLM運動
2	アジア人蔑視	日清・日露戦争、黄禍論、新型コロナ
4	浅羽佐喜太郎とファンボイチャウ	東遊運動・技能実習生制度
5	戦後の在日朝鮮人と現代のレイシズム	国籍法・ヘイトスピーチ・ヘイトクライム
6	講話	ヘイトスピーチ

### 4. 講話の内容について（希望）

- ・ヘイトスピーチについての講演をお願いしたいです。生徒たちは日々SNSや動画サイトを利用しており、ヘイトスピーチに触れる機会が増えています。
- ・XXXXXXXXXXさんや桜本の在日朝鮮人の方々のヘイトスピーチとの戦いなどをお話いただきたいです。
- ・レイシズムをなくすためには単に個人の「思いやり」だけではなく、社会の構造（法・制度）の整備が必要だということを生徒に感じさせたいです。
- ・ヘイトスピーチ解消法の施行後も残る課題（主にインターネット上でのヘイトスピーチか？）など、今現在のレイシズムについてお話いただきたいです。

## 5. 授業開発の背景

近年、外国人労働者の増加から、街中や教育現場でも外国人と接する機会が増えている一方で SNS や動画サイトではヘイトスピーチが後を絶たない。生徒たちの中には「興味本位」でこうした動画や投稿と触れている者も見受けられます。こうした社会的状況を考え、レイシズムが歴史的にどう誕生し、どう広がり、現在はどうなっているのかを考える授業を実践しようと考えました。資料などの分析を通し、レイシズムについてなるべく丁寧に授業を展開していきたいと考えています。

私の個人的な動機とはなりますが、私は [REDACTED] の出身でして、下宿先の近くには朝鮮大学がありました。大学時代には [REDACTED] でバイトをしましたが、この焼き肉店は社長も社員さんもほとんどが在日朝鮮人の方々でした（バイトも半分くらいは在日の方）。[REDACTED] 出身の私は、在日朝鮮人の方々とはほとんど接したことがなく、その背景などのほとんど知りませんでした。ある日、社員旅行に行くことになり、旅館の予約を [REDACTED] さんという社員が行ったのですが、旅館に着くと入口に [REDACTED] さんご一行」と書かれているのを見て、「通称名」のことを知り、びっくりしました。それ以来、アパートを借りるのが難しいなど様々な在日朝鮮人の「困難」を教えてくださいました。こういう経験もあって、いつか「レイシズム」について授業を行いたいと思っておりました。

急なお願いで大変申し訳ありません。

ご検討、よろしくお願いいたします。

神奈川県立相模原中等教育学校  
地理歴史科 内田圭亮（うちだ けいすけ）

## 相模原中等教育学校の授業における講演会について

### 1 学校への確認で把握した内容

11月15日（金）5、6時間目に4年次（高等学校1年次相当）2クラスを対象とした「歴史総合」の授業の中で、神奈川新聞社記者の石橋学氏の講演会を実施した。

#### (1) 経緯

- ・科目「歴史総合」の担当教員が、川崎市桜本でフィールドワークを行い、「川崎ふれあい館」の館長から石橋氏がヘイトスピーチに詳しいと教えてもらった。
- ・担当教員が特別授業の実施を検討する中で、石橋氏の話を生徒に聞かせることを計画した。
- ・担当教員が神奈川新聞社に電話し、石橋氏に打診した。
- ・担当教員は管理職に相談し、講師依頼について起案し、校長の決裁をとったうえで、正式に講師依頼を行った。

#### (2) 趣旨

「列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容」などを扱う単元において、帝国主義時代の黒人差別問題などを取り上げ、「レイシズムをなくすために大切と思うこと」について考察させる。

### 2 県教育委員会から学校への指導

県民からの問い合わせがあり、当日の朝、県教育委員会は本件について把握したため、学校に対して、以下のとおりの指導を行った。

- ・授業の前に、校長から、特定の団体や個人に対して批判めいた話や支持する話はしないことを講師に伝えること。
- ・授業の前に、校長から、話す内容について講師に改めて伝え、話した内容について記録を残すこと。
- ・授業に管理職が同席して、不適切な内容等がないか確認すること。
- ・万が一不適切な内容があれば、発言の撤回や訂正を行うこと。

### 3 講演内容について（管理職からの報告）

次のような講演の内容だった。管理職が発言の撤回や訂正を求めるような、不適切な内容はなかった。

- ・ヘイトスピーチを規制する法律について。
- ・川崎市でのヘイトスピーチや条例ができたことについて。
- ・アメリカの差別の状況について。
- ・「共に生きる」ことに関連して、津久井やまゆり園の事件について。

### 4 生徒の感想

11月18日（月）以降に振り返りを行うことになっているため、後日、確認する。